

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
ファッション 専門課程	スーパーデザイナー学科	夜・通信	660	320	
	ファッションクリエイター学科	夜・通信	840	240	
	ブランドマネジメント学科	夜・通信	360	240	
	スタイリスト学科	夜・通信	300	160	
	ファッションビジネス学科	夜・通信	480	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ掲載の大阪文化についての中にある情報公開に、「実務経験のある教員による授業科目」一覧を掲載。 https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/jitsumu2025.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>ホームページ「理事（役員）名簿 2025 年度」に掲載。 https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/yakuin2025.pdf</p>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	自営（2021.4.1～）	2025.5.28 ～ 2029. 定時評議員会 終結の時まで	教学全般への指導・助言担当
非常勤	会社役員（2013.5.1～）	2025.5.28 ～ 2029. 定時評議員会 終結の時まで	コンプライアンスへの指導・助言担当
非常勤	会社経営（1991.4.1～）	2025.5.28 ～ 2029. 定時評議員会 終結の時まで	業界の指導・助言担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全学科・学年・コース別の授業計画(シラバス)を整備し、年度初めにホームページで公表している。シラバスの作成、改訂にあたり、</p> <p>①シラバス項目は全学科共通の項目に統一した。ただ、授業科目の特性に応じて配慮が必要と判断される場合は、適切に処理し記載している。</p> <p>②授業の到達目標(学修成果)については、授業科目の特性を検討し、学生が該当する授業科目を修得したことで期待される「知識として知ったこと」「理解したこと」、その結果、「なにができて、なにができないか」を明確にするとともに、具体的に記載している。</p> <p>③成績評価の方法や基準については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の進捗状況との関連を重視し、筆記テストの実施期間やレポート課題、成果物の提出時期についても配慮し、重なることの負担を軽減した。 ・成績の評価方法は、テスト、レポート、提出成果物等、複数の評価方法を採用する場合は、その配分を明記するように努めた。 ・授業科目の評価は素点で行い、それをA、B、C、D、Eの5段階で評定。 <p>授業の到達 目標に対応した成績評価の設定を進めた。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページに掲載</p> <p>https://www.osaka-bunka.com/course/syllabus.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品、成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。</p> <p>成績評価は、平素の学習態度、出席状況、試験、提出課題、成果物などをもとに総合的に評価。各画目の成績は前・後期を勘案し、学年末に総合評価する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 成績評価での GPA 等の指標は設定していない。その理由は大学等のように単位制ではなく、時間制（授業時間数は年間 800 時間以上）であるため。よって公表はない。
 ただ、学生が自分自身成績を判断する材料として学年別・学科別・コース別に学生個人の総合成績の平均点、および席次記載し、学生には公表している。一方、授業科目の担当教員にとっても、GPA 等の客観的な指標があれば、学生の授業理解の度合いを判断し、授業内容の見直しに活用できるメリットがある。
 そこで、成績分布状況の把握・分析を狙いに、学年別・学科別・コース別に総合成績分布表を作成。期末に担当教員による学戦生活全般に関する事と共に授業内容についてのヒアリングを実施。授業の改善や理解度の判定の一助としたい。
 成績評価は以下の ABCDE の 5 段階で評定。レターグレード（評価）と評定区間、および評価基準の対応は以下のとおりである。

評価 (100 点満点の目安)	… 評価基準
・ A (100 点～90 点)	… 基本的な目標を十分に達成し、優秀な成果を収めている。
・ B (89 点～75 点)	… 基本的な目標を十分に達成している。
・ C (74 点～65 点)	… 基本的な目標を達成している。
・ D (64 点～55 点)	… 基本的な目標を最低限達成している。
・ E (54 点以下)	… 基本的な目標を達成していない。

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ「2024 年度自己評価報告書」に掲載。 https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/self_evaluation_2024.pdf
------------------	---

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って科目の授業時間を修得する事により卒業が認定され、専門士あるいは高度専門士の称号が与えられる。 なお、各学科には以下の卒業作品制作が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーデザイナー学科 (4年制) 卒業年次において個人ブランド5スタイリング以上の制作。卒業作品発表会で発表。 ・ファッションクリエイター学科 (3年制) グループによる8スタイリング以上の作品制作。卒業作品発表会で発表。 ・ブランドマネジメント学科 (3年制) 市場起点のオリジナル商品の企画制作、企画案、商品の展示発表。 ・スタイリスト学科 (2年制) 卒業作品発表会に向けスタイリングの企画立案、ショー形式による発表。 ・ファッションビジネス学科 (2年制) グループによる卒業作品発表会での1日限定オリジナルショップ開発と運営。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ「2024年度自己評価報告書」に掲載。 https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/self_evaluation_2024.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて概要を公開 https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	学校事務局にて閲覧可能
事業報告書	ホームページにて概要を公開 https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		ファッション専門課程	スーパーデザイナー学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,245 単位時間/単位	660 単位時間 /単位	3,585 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
130人		118人	8人	9人	8人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） スーパーデザイナー学科 世界で通用し、独立志向の強いデザイナー養成が目的。クリエイティブなデザイン力と自らのブランド構築の為、2年次に外部でグループブランドの制作、展示販売。3年次では商品企画演習等の講義と実習を組み合わせた実践授業に重点を置いている。4週間のイタリアポリモーダ校での短期海外留学も実施。
成績評価の基準・方法
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる成績評価は、ABCDEの5段階で評価。CDEは不認定となる。

卒業・進級の認定基準
(概要) 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。
学修支援等
(概要) ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	3人 (16.7%)	15人 (83.3%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が88.8%で、希望者内定率は93.8%となっている。			
(就職指導内容) 学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) <ul style="list-style-type: none"> ・Asia Fashion Collection 12th (グランプリ、ファイナリスト) ・FASHION FORONTIRE PROGRAM2024 入賞 ・Fashion Graduate Italia 出場 ・G-FRANCO Denim Disegno Awards 2024 入賞 ・G-FRANCO Denim Disegno Awards 2025 入賞 ・Graduate Fashion Week International 2024 ファイナリスト ・KAIHAT&Head-piece 2024 入賞 ・RECLOTHES cup 2024 アップサイクルコンテスト 入賞 ・The 5th Korea Textile・Fashion Design Contest (銀賞、奨励賞、銅賞、優秀賞) ・チュチュアンナデザコンテスト2024 Autumn (最優秀賞、入賞) ・チュチュアンナデザコンテスト2024 Winter (最優秀賞、入賞) ・チュチュアンナデザコンテスト2025 Spring (最優秀賞、入賞) ・高島屋 DENIM SCRAMBLE 入賞 ・三澤(株)T-shirt design project 24AW 企画 入賞 ・第15回 N1 モードグランプリ2024 北海道新聞社賞 ・第24回 YKK ファスニングアワード (審査員特別賞、入賞) ・第32回大連杯 優秀賞 ・第5回 JEA 刺繍コンテストデザイン部門 (最優秀 OIF 賞、準優秀賞、優秀賞) ・第61回全国ファッションコンテスト 三陽商会賞 ・第98回装苑賞 (入賞、入選) ・令和6年度 T シャツデザイン画コンテスト (新大阪センシティー理事長賞) 			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	7人	6.9%
<p>(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行うようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		ファッション専門課程	ファッションクリエイター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,285 単位時間/単位	375 単位時間 /単位	2,910 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
330人	281人	11人	14人	20人	34人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ファッションクリエイター学科 アパレル企業での企画職、技術職として活躍できる人材を育成。2年次から将来の職種に対応して、クリエイティブデザイナー、アパレルデザイナー、パタンナー、オートクチュール&舞台衣装、ニット、3Dモデリストのいずれかのコースを選択する。3年間を通して共通科目の「デザイン」「パターン」「縫製」「3D」を修得。服づくりの基本から高度な技術に裏打ちされた応用力を身に付け、コース選択によって、希望職種に必要な専門性を付加する。
成績評価の基準・方法
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる成績評価は、ABCDEの5段階で評価。Eは不認定となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。
学修支援等
（概要） ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
90人 (100%)	2人 (2.2%)	64人 (71.1%)	24人 (26.7%)
（主な就職、業界等） 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が74.4%で、希望者内定率は95.5%となっている。			

<p>(就職指導内容)</p> <p>学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024SSアトリエール第5回テキスタイル2次加工図案コンテスト(グランプリ、準グランプリ) ・2024年度第13回テキスタイルチャレンジ展 特別賞 ・G-FRANO Denim Disegno Awards 2024 入賞 ・G-FRANO Denim Disegno Awards 2025 入賞 ・KAIHAT&Head-piece 2024 入賞 ・Reclothes cup 2024 アップサイクルコンテスト(審査員特別賞、入賞) ・The 5th Korea Textile・Fashion Design Contest(奨励賞、銅賞、優秀賞) ・チュシューアナデザインコンテスト2024 Autumn(最優秀賞、入賞) ・チュシューアナデザインコンテスト2024 Winter 入賞 ・チュシューアナデザインコンテスト2025 Spring 最優秀賞 ・ノコヤファッションコンテスト2024 入賞 ・革コン2024 入賞 ・高島屋DENIM SCRAMBLE 入賞 ・三澤(株)T-shirt design project 24AW 入賞 ・第15回NIモードグランプリ 入賞 ・第24回YKKファスニングアート(グランプリ、入賞) ・第5回JEA刺繍コンテストデザイン部門(最優秀賞、優秀賞、デザイン賞) ・第61回全国ファッションコンテスト 入賞 ・第98回装苑賞(装苑賞、入選) ・日暮里ファッションデザインコンテスト2024(株)nuija design賞、入賞) ・令和6年度Tシャツデザイン画コンテスト(大阪卸商連合会会長賞、大阪商工会議所会頭賞) ・翔工房2024 入賞
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
273人	29人	10.6%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行うようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		ファッション専門課程	ブランドマネジメント学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000 単位時間/単位	1,365 単位時間 /単位	1,635 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		56人	2人	7人	7人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>ブランドマネジメント学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショップ開発コースは、企業で中核となる人材、または将来、ショップオーナーとして起業を目指す人材を育成。2年次からは企業で長期インターンシップと通して、現場対応型の実践力を身に付け、3年次には企業の協力を得て、長期運営店舗を企画立案、商品調達に取り組み、市街地において3カ月間のショップ運営に携わる。 ・プロデューサーコースは、市場起点の発想で商品開発、ブランド構築できるプロデューサーの育成のコース。ショップ開発コースとの違いを出すため、アパレル商品演習（パターン・縫製）、ブランドプロデュース企画（オリジナル商品開発）等の授業科目を導入。販売職にとどまらず、総合職、企画職として就職できるカリキュラムを充実。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる成績評価は、ABCDEの5段階で評価。DEは不認定となる。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	13人 (92.9%)	1人 (7.1%)
<p>（主な就職、業界等） 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が92.9%で、希望者内定率は100%となっている。</p>			
<p>（就職指導内容） 学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 9月から12月迄、HEP FIVEにて学生ショップ「CEANGAIL」をオープン。トータル売り上げは、195万円。</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	10人	18.9%
<p>（中途退学の主な理由） 主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行うようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		ファッション専門課程	スタイリスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,980 単位時間/単位	465 単位時間 /単位	1,515 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		74人	1人	7人	11人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） スタイリスト学科 ・プロフェッショナルコースは、1年次に修得したスタイリストの知識・技術をさらに向上させます。現役スタイリスト完全監修、プロのスタイリストと同じ流れで実習するオンリーワンのプログラムで、即戦力を目指します。有名雑誌やコレクションなどでスタイリングを発表。プロモデルやタレントなどとともに一流の舞台を経験します。</p> <p>・ビューティー&スタイルコースは、スタイリングやネイル、メイクなどのスタイリストに必須の能力に加えて、SNSを活用したコーデ提案などの実践を通じて、自身の感性やアイデアを魅力的に提案・発信するノウハウを修得します。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる成績評価は、ABCDEの5段階で評価。Eは不認定となる。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	19人 (70.4%)	8人 (29.6%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が67.9%で、希望者内定率は100%となっている。</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度F.S.A認定スタイリングアワード AWジュニア級（準グランプリ） ・2024年度F.S.A認定スタイリングアワード AWプレイヤー級（グランプリ、準グランプリ） ・2024年度株式会社ライフコーポレーション賞 ・造幣局「桜の通り抜け」でファッションショーを開催 ・「Panasonic」とコラボ企画を実施 ・なんばパークス「なんばソトフェス」にてスタイリングを披露 ・ライフコーポレーションとコラボ企画 ・三澤株式会社とスタイリングコラボ ・韓国スタイリング研修 			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75人	14人	18.7%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどをとるようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		ファッション専門課程	ファッションビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,845 単位時間/単位	870 単位時間 /単位	975 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		48人	2人	5人	9人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ファッションビジネス学科 ・FA、プレス、バイヤー、SNSを駆使したインフルエンサー等のアパレル小売業界で活躍できる多様な人材を育成。販売員に必須の商品知識、販売実務、素材知識、コーディネート論に加え、マーケティングやMD、VMD理論を学ぶため、幅広い授業科目の編成。1年次で全員が店頭で販売インターンシップに参加。2年次からはショップスタッフ、バイヤー、プレスインフルエンサーの中から選択コースへ対応した科目を選ぶ。選択科目は3コマ（全体の20%程度）	
成績評価の基準・方法	
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる成績評価は、ABCDEの5段階で評価。Eは不認定となる。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。	
学修支援等	
（概要） ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	21人 (63.6%)	12人 (36.4%)
（主な就職、業界等） 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が63.6%で、希望者内定率は100%となっている。			

<p>(就職指導内容)</p> <p>学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PAL FOUNDATION CUP プラチナ賞 ・ファッションビジネス学会FBアワードY2024 第1位 ・URBAN RESEARCH Style Ambassador SalesAward (FirstPrize、SecondPrize、ThirdPrize、BestAssistant) ・「アーバンリサーチ」スタイルアンバサダーのコラボ取組 ・韓国バイイング研修
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	10人	16.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどをとるようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
スーパーデザイナー学科	300,000円	730,000円	425,000円	
ブランドマネジメント学科	300,000円	730,000円	410,000円	
スタイリスト学科	300,000円	660,000円	425,000円	
ファッションクリエイター学科	300,000円	580,000円	430,000円	
ファッションビジネス学科	300,000円	580,000円	410,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ホームページアドレス https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html ・刊行物等の名称 自己評価報告書(文部科学省ガイドライン準拠版)		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
学校自己評価に取り組むことで、教職員が教育活動、学校運営の成果や課題を共有し、組織の活性化や学校運営の継続的改善を図る。学校関係者評価には、業界団体、企業、教育関係者、卒業生、保護者等を委員に選任し、自己点検・自己評価を通して、 ▶点検・評価の客観性、透明性を高め、情報公開する。 ▶学校運営の現状や課題について、学校関係者と共通理解を深め、学校運営の改善に向けて連携効果を引き出す。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
協同組合関西ファッション連合 常務理事	2013. 4. 1～2026. 3. 31 1年更新	業界団体
株式会社玉屋 常務取締役	2013. 4. 1～2026. 3. 31 1年更新	企業関係
大阪府立泉尾工業高等学校 教頭	2023. 4. 1～2026. 3. 31 1年更新	教育関係
OIFer LINK 会長	2016. 4. 1～2026. 3. 31 1年更新	卒業生
会社員	2024. 4. 1～2025. 3. 31 1年更新 任期終了	保護者
会社員	2025. 4. 1～2026. 3. 31 1年更新 新規就任	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ホームページアドレス https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html ・学校関係者評価委員会 議事録(上記アドレスに公開)		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ホームページアドレス https://www.osaka-bunka.com/ ・学校案内パンフレット「SCHOOL GUIDE 2025-大阪文化服装学院」

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H127310000157
学校名 (〇〇大学 等)	大阪文化服装学院
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人ミクニ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		94人 (0) 人	78人 (0) 人	94人 (0) 人
内 訳	第Ⅰ区分	60人	48人	
	(うち多子世帯)	(0 人)	(0 人)	
	第Ⅱ区分	22人	18人	
	(うち多子世帯)	(0 人)	(0 人)	
	第Ⅲ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	(0 人)	(0 人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	人	人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	-	-	
区分外 (多子世帯)	人	人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 (0) 人
合計 (年間)				94人 (0) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	-	-	-
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-	-	-
計	-	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	-	0人	-

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-	-	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	-	-	0人
計	12人	-	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。